

杉並区子ども・子育て行動計画(後期計画)
進捗状況(平成24年度)の評価について

計画全体の評価

1 評価指標に基づく評価

区民の視点に立った点検・評価をうために、毎年、区が実施している区民意向調査の結果等を評価指標として定め、本計画の進捗状況の評価をしています。評価指標には、計画全体のものと、5つの推進プランごとのものがあります。

【評価指標】		24年度	23年度
計 画 全 体	子育てを楽しんでいる人の割合	79.1%	76.3%
	自分が認められていると感じる子どもの割合	87.7%	87.1%
推進プラン 1	保育園利用者の満足している割合	89.8%	88.2%
	仕事と生活の調和が図られていると感じる割合	73.1%	73.4%
推進プラン 2	子育てが地域の人に支えられていると感じる割合	69.4%	73.0%
	子育ての仲間づくりに参加したいと思う割合	50.0%	47.5%
推進プラン 3	地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じる人の割合	60.0%	58.3%
推進プラン 4	区や地域のイベントに参加した事がある子どもの割合	73.8%	75.8%
推進プラン 5	子どもを虐待していると思う割合	2.8%	2.7%

【評価】

評価については、「評価指標に基づく評価」と「事業ごとの評価」があります。

評価指標に基づく評価については、前年度に比べ、一部低下しているものもありますが、計画全体の評価では上昇傾向にあります。

事業ごとの評価では、個別事業の目標を達成するために計画を推進し、各推進プランごとでは、前年度と同等または上昇しています。

以上の2つの評価に基づき、杉並区子ども・子育て行動計画(後期計画)に掲げられた各事業は、平成24年度において、概ね計画どおりの進捗状況になっています。

2 事業ごとの評価

推進プランごとに、個別事業に係る目標値を設定し、その数値目標の達成状況を、進捗状況として各事業の所管課において評価しています。

	24年度	23年度
推進プラン1(仕事と生活の調和の実現を図ります)	A	A
1 保育園、学童クラブの待機児童解消	A	B
2 保育の質の向上	A	A
3 多様な保育サービスの展開	A	A
4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けた取組を行う企業の普及促進	A	A
推進プラン2(子育てで家庭や地域の子どもを育てる力を応援します)	A	A
1 子育てを地域で支え合う仕組みづくりの推進	A	A
2 親のつながりづくりと学び合いの推進	A	A
3 地域の子育て支援者の育成	A	A
4 安心して子育てができる生活環境の整備	A	A
推進プラン3(ニーズに応じたきめ細やかな子育て支援サービスを充実します)	A	A
1 妊娠・出産期からの親子の健康支援	A	A
2 身近な地域で利用できるサービスの充実	A	A
3 子育てに伴う経済的支援	A	A
推進プラン4(子どもの自立を促し社会参画を進めます)	B	B
1 青少年の自立支援の推進	B	C
2 健やかな心身の発達の支援	A	A
3 子どもの居場所づくりの推進	B	B
推進プラン5(特に支援が必要な子どもたちの成長を守ります)	A	A
1 子育てセーフティネットの構築	A	A
2 ひとり親家庭自立支援の充実	A	A
3 障害のある子どもへの発達に応じた支援の充実	A	A

事業ごとの評価は以下の評価基準により行いました。

(1) プランに含まれる事業の進捗状況を「 」～「×」まで、ポイントに換算します。

- …5点
- …4点
- …3点
- …2点
- …0点
- × …0点

(2) 「各プランを構成する事業の数」×5点を満点として、ポイント数を評価します。評価基準は以下のとおりです。

- A … 80%以上
- B … 70%以上80%未満
- C … 60%以上70%未満
- D … 60%未満

【評価】

就労を希望する保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育園、学童クラブの待機児童の解消に向けた取組を推進しました。保育園の待機児童対策として、乳幼児の育成環境に対する保護者のニーズの変化や増大する保育需要等に対応するため、認可保育園の定員増、認証保育所や区保育室の整備、家庭福祉員の増員などに取り組みました。また、保育の質の向上を図るため、幼児教育・保育の総合的な指針となる「就学前教育振興ビジョン」を策定しました。学童クラブにつきましては、定員増を伴う移転や小学校改築に併せた新設整備に取り組み、学童クラブの受入枠の拡大に努めました。さらに、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けた取組を行う企業の普及促進のため、子育て優良企業に対する表彰や普及啓発冊子の作成を行いました。

今後は、待機児童・保育需要の動向を踏まえ、保育施設等の整備をするとともに、病児保育の充実など多様な保育サービスの展開にも取り組む必要があります。また、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発については、中小企業を対象とした取組が求められます。

1 保育園・学童クラブの待機児童解消			
1	保育園等の受入の拡大(定員・・・弾力運営含む)	保育園の定員見直しにより、38人の定員増を図り、さらに弾力的な運用により61人の増員となりました。	A 36/45 80%
2	認可保育園の増設	新たに認可保育園(定員80人)を開設した。	
3	認証保育所の増設	2所整備し、定員68人増を図りました。	
4	杉並区保育室・グループ保育室等の整備・実施	委託型区保育室1室(定員30人)を整備した。	
5	家庭福祉員(保育ママ)制度の充実	家庭福祉員2所、家庭福祉員グループ1所を開設し、定員12人を増やしました。	
6	育児休業取得の支援・入所予約制度の実施	喫緊の課題である待機児童解消のための取り組みを重点的に推進していくために、入所予約制度について導入を見送りました。	
7	私立幼稚園の預かり保育の推進	定員変更により、2園で預かり保育の定員を20人の増となりました。	
8	区立幼稚園の新たな幼保一体化施設「子供園」への転換	区立幼稚園2園を子供園に転換するため、施設・設備の整備を行いました。	
9	学童クラブの充実	受入枠拡大を図るため、小学校内への移設(1所)と、小学校改築に合わせて学童クラブの整備(1所)を図りました。	

2 保育の質の向上			
1	保育プログラムの策定	平成23年7月に策定した「保育実践方針」について、認可外保育施設を含む各保育現場で広く活用することで、保育の質の向上を図りました。	A 19/20 95%
2	就学前教育振興ビジョンの策定・子供園育成プログラムの推進	就学前教育振興指針を、平成24年9月に策定しました。また、子供園育成プログラムについては、引き続き検証・評価を行っています。	
3	保育に関する基準・費用負担のあり方の検討	応能負担の原則に基づく、公平性の高い保育料徴収基準に改定し、平成25年10月から実施します。	
4	認可保育園の耐震化・耐震対策の推進	区立保育園(1園)の耐震化工事が完了するとともに、都営住宅併設の保育園(1園)の耐震化工事に着手しました。	

3 多様な保育サービスの展開			
1	延長保育実施園の拡充	引き続き、区立保育園40園で延長保育を実施しました。	A 8/10 80%
2	病児・病後児保育の充実	病児保育については、区の北西部1所のみとなっており、地域的に利用しにくい状況ですが、利用者数は増加傾向にあります。25年度中に2名の定員増が図られ、26年度には、東部地域での設置が予定されています。	

4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けた取組を行う企業の普及促進			
1	子育てを応援する取組の啓発・促進	子育てに優しい職場環境づくりに積極的に取り組むよう、普及啓発チラシを作成し、区内事業者に配布しました。	A 20/20 100%
2	地域貢献活動の推進	「子育て優良事業者表彰」は、3事業者を表彰するとともに、表彰基準の見直しを行い、子育て支援に有益な地域活動を行なった1事業者を新たに表彰しました。普及啓発冊子を区内事業者配布し、制度の周知を図りました。	
3	子ども・子育て優良企業に対する表彰の実施		
4	企業向け講座等の実施	男女協同参画都市宣言15周年事業と併せて、ワークライフバランスの講演会を実施しました。	

【評価】

子育て応援券事業や子育てメッセの開催、地域に開かれた信頼される学校づくりの推進などにより、区民・地域団体・企業等が協働して、子育てを地域で支えあうしくみづくりを進めました。また、親同士のつながりづくりや学び合い、親と地域が一体的となって地域の子育てを支え合うしくみづくりを推進しました。さらに、地域での子育て支援の人材を育成・支援するとともに、乳幼児親子が外出しやすく、安心して子育てができる地域となるよう、生活環境の整備を進めました。

1 子育てを地域で支え合うしくみづくりの推進			
1	子育て応援券事業の推進		区独自の応援券事業については、交付額・交付方法の変更を行ない、低年齢児のいる家庭への重点化を図り、親の子育て力、地域の子育て力を高めるという事業の目的に即したサービスにつながるよう見直しをしました。
2	子育てサイトの充実		子育てサイトは、区民の関心が高い特集記事の掲載など内容の充実に努めました。
3	子ども・子育てメッセの開催		子育てメッセは、子育て支援団体相互、子育て家庭がつながるきっかけづくりの場を提供しました。
4	地域子育てネットワーク事業の充実		児童館においては、地域ネットワークの取組で連絡会を176回、交流事業として1159行事、子育て支援講演会を18事業実施しました。
5	地域運営学校(コミュニティ・スクール)の拡充		地域に開かれ信頼される学校づくりを目指し、地域運営学校の運営の指定を行ないました。
6	学校支援本部設置支援 拡充		学校支援本部が全校に配置されたことにより、地域に根差した活動に向け、基盤が整備されました。
7	地域教育推進協議会の設置		地域教育推進協議会のモデル地区の拡充に向けて、モデル実施3年目の中学校区地域教育推進協議会の検証を行い、2か所目のモデル地区選定に向けた検討を行いました。
			A 32/35 91%

2 親のつながりづくりと学びあいの推進			
1	乳幼児親子のつどいの場の充実		地域団体等の取組による、親子が地域の中で集うことができる場を支援するとともに、児童館では、乳幼児の親子向けプログラムを実施しました。
2	「家庭学級」を通した親の学び合いの場の提供と支援		年齢期の子どもの成長段階に応じた課題をテーマに11の講座を開催しました。
3	父親の家事・育児講座の実施		父親と子どもの交流の機会も設定し、子育て力向上を支援しました。
			A 12/15 80%

3 地域の子育て支援者の育成			
1	すぎなみ地域大学の子育て支援講座の充実	地域における子育て支援の人材を養成するとともに、現在子育て支援活動中の区民等を対象に、子育ての知識や技能を向上させるための講座を開催しました。 児童館では、区民やNPOと協働した企画講座を開催するなど自主活動を支援しました。 家庭教育支援にかかわる団体や個人の活動、事業の質を高めるための学習会を開催しました。	A 19/20 95%
2	子育て支援者のスキルアップ研修の実施		
3	区民・NPO等の自主的活動の支援とネットワークづくり		
4	家庭教育フォーラムの開催		

4 安心して子育てができる生活環境の整備			
1	授乳・おむつ替えのできる施設の整備	子育て家庭が安心して外出したり、安全に生活できるよう環境整備を進めています。区全体の整備計画の中でバリアフリーに配慮した整備工事等を実施しています。 防犯対策については防犯自主団体への活動助成や民間委託での安全パトロール実施しています。 救急医療については救急医療体制の確保や救急医療情報センターでの小児急病相談・医療機関案内、講演会・小冊子による救急知識の普及・啓発に努め、子育て家庭の不安解消に役立っています。	A 46/50 92%
2	バリアフリー協力店の普及・啓発		
3	駅周辺の整備		
4	街路灯の整備		
5	区営住宅入居の優遇倍率拡大		
6	学校の危機・安全対策の拡充		
7	通学路の子どもの見守りや犯罪発生情報のメール配信の推進		
8	小児救急医療体制の確保		
9	小児救急相談の充実		
10	かかりつけ医・歯科医・薬局の促進		

ニーズに応じたきめ細やかな子育て支援サービスを充実します

【評価】

安全・安心な妊娠・出産を経て、地域で楽しく子育てができ、子どもが健やかに成長できるよう、妊婦健康診査の充実、すこやか赤ちゃん訪問事業の実施などにより、妊娠・出産の早い時期からの子育て家庭の支援を充実し、育児不安の軽減や産後うつ、虐待の予防などを図りました。また、すべての家庭がゆとりを持って子育てができるよう、ファミリー・サポート・センター事業、産前・産後支援ヘルパー事業等のサービスを推進するとともに、児童手当の支給や乳幼児及び義務教育就学児の医療費助成を行いました。

1 妊娠・出産期からの親子の健康支援			
1	妊婦健康診査の充実		A 32/35 91%
2	出産準備教室の充実	区の独自事業である産婦健康診査及び妊婦歯科健康診査の受診件数は、前年度より増加しました。	
3	すこやか赤ちゃん訪問事業の実施	休日にパパママ学級を開催し父親の参加を促進するとともに、需要が多いため開催回数を増加しました。	
4	乳幼児健康診査の充実	すこやか赤ちゃん訪問の実施、乳幼児健康診査の充実により、妊娠出産の早い時期から継続的な支援を行い、地域で楽しく子育てができ、子どもが健やかに成長できるよう支援を行いました。育児相談や離乳食講習会を実施し、保護者の育児不安を軽減しました。	
5	乳幼児歯科健康診査・相談の充実	また、不妊に悩む夫婦に対し、特定不妊治療費の一部を助成し、経済的の軽減を図るとともに、相談事業も開始しました。	
6	育児相談・講習会の充実		
7	安心して妊娠・出産ができる環境づくり	不妊に悩む夫婦に対し、特定不妊治療費の一部を助成し、経済的の軽減を図るとともに、相談事業も開始しました。	

2 身近な地域で利用できるサービスの充実			
1	ひととき保育等、一時預かりの充実		
2	緊急一時保育の実施	<p>通院、買い物、育児疲れの解消等のためのひととき保育、一時預かりの充実、育児相談の実施などにより、育児不安や負担の軽減を図るとともに、子どもの健やかな成長を支援しました。</p>	<p>A 27/30 90%</p>
3	ふれあい保育		
4	育児相談		
5	ファミリー・サポート・センター事業の充実		
6	産前・産後支援ヘルパー派遣の充実	<p>地域で子育ての手助けが必要な人と、手助けができる人が相互援助を目的として、ファミリー・サポート・センター事業を実施しました。また、妊娠中の体調不良時等の家事援助、出産後間もない母子の世話と育児の相談を行うヘルパーの派遣を行いました。</p>	

3 子育てに伴う経済的支援			
1	「子ども手当」の支給	<p>平成24年6月以降の手当額については所得制限限度額が導入され、所得制限限度額以上の方は、支給対象児童1人につき5,000円を支給しました。児童手当の支給にあたっては、必要な認定請求書や各種届出書等の提出を受け、適切に手当を支給しました。乳幼児及び義務教育就学児を養育する保護者に対し、当該児童の保険診療にかかる医療費の自己負担分を助成しました。</p>	<p>A 10/10 100%</p>
2	乳幼児及び義務教育就学児の医療費助成		

子どもの自立を促し社会参画を進めます

【評価】

子どもの自立を促すため、児童青少年センター(ゆう杉並)での事業をはじめとして、様々な体験や交流、自主的な活動、社会参加・参画の機会を増やしたり、将来の進路選択を視野に入れた事業を行うなどの支援を行いました。また、未成年者の健全育成のための普及啓発の取組を進めました。
 今後は、少子化に伴う児童・生徒数の減少、地域コミュニティの弱体化などの環境変化に対応しながら、子どもが地域社会の中で安全・安心に過ごせるよう、次代を担う子どもたちの健やかな成長を育むことが求められています。

1 青少年の自立支援の推進			
1	青少年の自立支援や体験のための場の設置	新たに検討を開始する方向とし、事業目標を変更しました。	B 28/40 70%
2	青少年の社会参加・参画の推進	青少年の主体性や社会性を育み、社会参加や参画を促進する取り組みとして、「ユースプロジェクトすぎなみ」の活動を展開しました。	
3	児童青少年センター(ゆう杉並)自主企画実現システムの推進		
4	児童館における自主的活動の支援	子どもたちの発想やアイデアを事業に反映し、自主的・主体的に活躍できる場を設定できるように、日常的な要望の聞き取り、意見箱の設置、行事ごとのアンケートなど、子どもたちの参画を大切にしました。	
5	ジョブ・スタート支援事業の充実	区内の高校16校の協力を得て「仕事に関するアンケート」を実施し、現代の高校生に就労に対する意識付けを行いました。また、中・高校生の自主企画などで、プロから直接指導が受けられるよう事業やプロの技術に直接触れることで、仕事に対する厳しさや自己実現の方策等を学びました。	
6	中・高校生世代の自主性・社会性・創造性の育成		
7	中学生レスキュー隊の活動推進	全校に設置された中学生レスキュー隊は、合同訓練のほか、学校・地域単位での活動を積極的に行ってきました。	
8	親子環境教室の推進	民間団体での同種事業に統合したため、23年度から中止としました。	

2 健やかな心身の発達の支援			
1	幼小連携教育の推進		就学前教育と、小学校における学校教育との連続性を考慮した連携を、9校・9園で実施しました。
2	豊かで多様な遊び体験の場の提供		児童館での遊びを通して、友達や大人と出会い楽しく触れ合う中で、コミュニケーション力や社会性を培っています。地域団体やボランティアの協力を得て、活動を展開することにより、子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう支援しました。
3	中・高校生と赤ちゃんふれあい事業の推進		小学生から高校生を対象として、赤ちゃんと関わる機会をつくり、命の大切さを実感し、親との関係や自分自身を見つめ、自己肯定感を高める機会となりました。
4	思春期サポート事業の充実		大学生のピアサポーターが中・高校生に寄り添い、進路や部活、日々の悩み等の相談に対応し、会話をしながら自己肯定感を育める時間を創りました。
5	未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用防止対策の推進		喫煙防止ポスター・標語の募集やポスターの作成・配布を行い普及啓発に努めるとともに、未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーンイベントを行いました。
6	食育の推進		食育リーダー研修やアレルギー疾患に関する講演会を実施し教職員の知識の向上を図りました。
			A 28/30 93%

3 子どもの居場所づくりの推進			
1	放課後の身近な遊び場としての児童館の充実		学校や家庭ではない子どもたちの居場所として、子どもたちの気持ちを受けとめ、びを通じて成長支援をしました。
2	学校施設を利用した居場所づくりの推進		土曜日学校や放課後子ども教室の運営支援を行いました。
3	中・高校生世代の居場所機能の充実		ゆう杉並の利用者懇談会に、中・高校生運営委員会から委員が出席し意見交換し、利用者である中・高校生自らがより良い居場所に変えていける良い機会ができました。
4	児童館の役割・機能等の検証・充実		新たに検討を開始する方向とし、事業目標を変更しました。
			B 13/20 65%

特に支援が必要な子どもたちの成長を守ります

【評価】

増加する児童虐待や子育て不安に対して、子ども家庭支援センターの機能強化や関係機関とのネットワークの強化等により、迅速で的確な対応を進めました。また、ひとり親家庭には、安定した生活ができるよう、きめ細やかな相談を行うとともに、就業に向けた支援やホームヘルパー派遣による日常生活の支援、児童扶養手当・児童育成手当の支給等の経済的支援を行いました。さらに、障害のある子どもが健やかに成長できるよう、発達の遅れ等の心配がある子どもへの早期支援の充実を図りました。

今後は、多様で複雑な課題を抱える家庭への的確な支援のため、保健・福祉・医療等の総合的な取組とともに、児童虐待対策について未然防止の観点からの取組を進めることが求められています。

1 子育てセーフティネットの構築			
1	虐待通報・相談支援体制の充実	<p>母子保健と児童福祉の連携分野として子ども家庭支援センターにおいて、関係機関(保健センター・児童相談所・主任児童委員等)と連携しながら、児童虐待に関する通報・相談への対応、育児不安等の保護者の支援、子育て支援講座の開催などを行いました。</p> <p>また、保護者の病気等で一時的に養育困難になった子どもについて、乳児院や児童養護施設へ委託による短期入所を実施しました。</p> <p>要保護児童、要支援児童、特定妊婦について、関係機関と情報共有を図り、杉並区要保護児童対策協議会を運営し、連携強化や適切なケース支援を図りました。</p>	<p>A</p> <p>29/35</p> <p>83%</p>
2	保護者の相談事業の充実		
3	ゆうライン相談等の充実		
4	要支援家庭への訪問等の充実		
5	見守りサポート事業の充実		
6	子どもショートステイ事業に充実		
7	児童虐待防止のためのネットワーク強化		

2 ひとり親家庭自立支援の充実			
1	ひとり親家庭相談の充実		<p>父子家庭を含めたひとり親家庭の悩みや相談を、3福祉事務所と子ども家庭支援センターの母子自立支援員が応じ、自立のための支援サービスを案内しています。</p> <p>老朽化に伴う民間母子生活支援施設の全面改築に対して行なった、改築費用の補助事業は、平成25年3月に完了しました。</p> <p>また、家事や育児を行なってくれるヘルパーを派遣し、生活の安定を図っているほか、ひとり親家庭同士の交流を図るため、自主グループを支援しました。</p> <p>ひとり親家庭等の生活安定と自立促進を図るため、児童扶養手当・児童育成手当を支給し、医療費の助成を行いました。</p>
2	就業支援の充実		
3	母子生活支援施設の整備		
4	ひとり親ホームヘルパー派遣の充実		
5	ひとり親自主グループの支援		
6	児童扶養手当・児童育成手当の支給、ひとり親家庭等医療費の助成		
			<p>A</p> <p>29/30</p> <p>97%</p>

3 障害のある子どもへの発達に応じた支援の充実			
1	相談・療育機能の充実		<p>通園グループ指導、言語心理指導、リハビリテーションを実施し効果をあげています。通園対象児への対応では通園グループ受入数を増やし、重度・重複障害児は専門医、看護師が連携し対応しました。</p> <p>発達障害児専門相談は幼稚園・保育園への周知が進み、円滑に相談に繋がるようになりました。発達障害児グループ指導事業は、社会性やコミュニケーションに課題を抱えることにも対し、心理職・言語聴覚士による個別指導と組み合わせ指導を実施し効果をあげました。</p> <p>保育園・子供園・幼稚園に児童精神科医師・心理士を派遣し、職員に対して助言を行う巡回指導を強化して支援を行ないました。児童館では、障害のある子が健常児とともに楽しめるプログラムを提供しました。学童クラブでは、研修の実施、巡回指導など、職員のスキルアップを図り受入れ体制を強化しました。</p> <p>通常の学級に介助員を配置し、児童生徒の個々のニーズに応じた学習支援や安全管理、介助を行ないました。</p>
2	発達障害児の支援の充実		
3	保育園・子供園・幼稚園・学童クラブ等での障害児の受入・支援の拡大		
4	特別支援教育の推進		
			<p>A</p> <p>20/20</p> <p>100%</p>

子ども・子育て行動計画(後期計画)の体系図

推進プラン 1	仕事と生活の調和の実現を図ります	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育園、学童クラブの待機児童解消 2 保育の質の向上 3 多様な保育サービスの展開 4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けた取組を行う企業の普及促進
推進プラン 2	子育て家庭や地域の子どもを育てる力を応援します	<ol style="list-style-type: none"> 1 子育てを地域で支え合うしくみづくりの推進 2 親のつながりづくりと学び合いの推進 3 地域の子育て支援者の育成 4 安心して子育てができる生活環境の整備
推進プラン 3	ニーズに応じたきめ細やかな子育て支援サービスを充実します	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠・出産期からの親子の健康支援 2 身近な地域で利用できるサービスの充実 3 子育てに伴う経済的支援
推進プラン 4	子どもの自立を促し社会参画を進めます	<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年の自立支援の推進 2 健やかな心身の発達の支援 3 子どもの居場所づくりの推進
推進プラン 5	特に支援が必要な子どもたちの成長を守ります	<ol style="list-style-type: none"> 1 子育てセーフティネットの構築 2 ひとり親家庭自立支援の充実 3 障害のある子どもへの発達に応じた支援の充実